

新たな年度を迎えるにあたって

3月はたくさんのお客様にお越しいただいた月でした。SAJツアーに参加していただいた皆様には、代表理事とともにお越しいただき、ワタミインターナショナル(株)の皆様、学校法人郁文館夢学園の生徒の皆様、これから学校建設の支援をしていただく支援者様と本当にたくさんの方々に農場を見ていただきました。

代表理事と話をさせていただきご指導をいただいたこと、さらにワタミ手づくりマーチャンダイジング(株)の門司社長と(有)ワタミファームの磯野社長にカンボジアまで来ていただいたことにより業務計画や予算の内容、そして日々の作業の方法など細かいところまでご指導をいただきました。その内容としては下記の通りです。

1. 水稻の栽培は一昨年、昨年と継続して栽培を行ってきたモデル区のみになります。その面積は41a、雨季の間に2回作付けをし、年間の目標収穫量として約2トンの収穫を目指します。
2. レモングラスを増産します。2013年度の収穫、出荷量はまだ少ない予定ですが、3年後のゴールとして1年間に24トンの出荷ができるようにします。そのために今年は雨季でもレモングラスの葉を乾燥させることができるような仕組みを作っていきます。
3. ニワトリの管理を強化します。2013年10月までに親鳥が20羽になるようにします。そのためにもっと管理を強化するため、少し離れた場所にあったニワトリ小屋を、住居のそばにある倉庫を改良し、そこにニワトリを移すことにしました。

さて1つ目の水稻の栽培ですが、昨年の実績から2013年度も雨季の間に2回作付けをする計画をしています。肥料を入れ、日本のように一定の間隔をあけて植えつけ、水をいつも保つようにしていきます。

この水稻の栽培方法を周囲の方々に見ていただきたいと思えます。そのため今までに手をかけてきたことや道路に隣接していることからモデル区での水稻の栽培を継続します。

ところで、カンボジア国内を走る主要幹線道路の両脇には田園風景が広がっています。それだけ多くの水稻が栽培されているわけですが、最近は大きな工場も目立ちます。そこには安定した収入を求め若い人たちがたくさん働きにきています。私たちはそんな工場に負けず、農業でも安定した生活ができる



いつも元気いっぱいのワタミインターナショナル(株)の皆様。

通訳を介しての説明でしたが、みなさん真剣に聞いてくれました。



学校法人郁文館の生徒の皆様です。農場を一回りした後レモングラスの刈り込みを行っていただきました。

来年は作業の後にマンゴーを食べましょうね。

ような魅力的な農業を実現する必要があります。

そのために2つ目があります。レモングラスを増産し今以上に出荷を行い、日本へ輸出してもらい、皆様にお茶として飲んでいただき、農場の利益につなげます。

このレモングラスの増産は、出荷までの工程をすべて手作業で行っているため周囲の人々に一緒に働いてもらうことができます。そして、このお茶が日本で好評となった際には増産のために周囲の農家さんにも栽培をお願いすることとなるでしょう。そうなれば最近増えている縫製工場などのように一定の金額を収入として得ることができるはずです。

このレモングラスも周囲の方々に見ていただきたいことから道路に近いところから順に作付面積を増やしていこうと思っています。

3つ目のニワトリに関してですが、このニワトリは決して肉や卵のためではありません。有機循環型農業のかなめともいべき肥料としての糞を利用したいためです。最近になってようやく分かったこととして雌鶏1羽が産卵する数は平均11個、そのうち孵化するのが約60%、さらに孵化後3ヶ月までの生存が孵化した雛の約70%になっています。孵化してから3ヶ月間の間に生存している雛は約半分近くに減ってしまうわけですが、その雛が確実に親鳥にならなければニワトリを増やすことはできません。増羽をしてくためにもまず親鳥に育てていきます。

最後は新しい日本人スタッフを紹介させていただきます。

3月17日にカンボジアに来ましたワタミ株式会社の早藤と申します。現在は語学研修を行っており、6月より本格的にSAJ Farmで勤務させていただきます。

私は2007年に新卒でワタミフードサービスに入社し、2010年からワタミファーム山武農場で勤務していました。以前から「暖かい所で農業がしたい」と思っていたので、夢が叶ったといえるのかもしれませんが(笑)。

私の目標は有機農業を通じてカンボジアの人々の生活に少しでも貢献できるような農場にしていくことです。そのためにも現地の方々と協力して働くことでより大きな成果を出せるようにしたいと考えています。そして、それに向かって努力することで自分自身の人間性を少しでも向上させ、最終的には自分自身も幸せを実感できればと思います。また、今後の日本人スタッフが働きやすい環境を作るのも私の使命だと思うので、多くの人に働きたいと思ってもらえる魅力的な農場を作っていきたいと思います。

まだまだ未熟な私ですが、精一杯自分の使命を全うして参ります。

今後とも御支援の程、何卒よろしく申し上げます。



編集後記

3月はたくさんの支援者様にご来場いただいたとともに代表理事にも来ていただきました。次回お越しいただいた時にはモデル区に水稻が栽培され、レモングラスの増植が進んでおり、ニワトリが20羽になっていることをご報告できるようにしたいと思います。

飯島